

広報 にいかっぷ

2013 2014

12・1

合併号
No 574

新冠町ホームページ
<http://www.nikappu.jp>
Eメール
info@nikappu.jp



最高の笑顔で公演終了

レ・コード館で開催されたど・ぞ〜れ新冠の定期公演。
多くの笑顔とたくさんのお手があがっていました。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

新冠町長 小竹 國昭



小竹 國昭

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げますとともに、回頃から町政に対する格別なご理解とご協力に深くお礼申し上げます。

私は昨年4月の町長選において、町民の皆さまの暖かいご支持・ご支援をいただき、3期目の町政運営を担わせていただくこととなりました。

私は平成17年の初当選以来、「小さくてもキラリと光るまち」「小さいからこそできる心あたたかいまち」を目指し、全力で取り組んできました。今後も皆さまからの声に真摯に耳を傾け、小さい町だからこそできる、きめ細やかな行政展開をはかり、「元氣あふれるふるさとづくり」を目指してまいります。

さて、昨年のわが国を振り返ってみますと、平成24年12月の衆議院選挙において自民党が圧勝し、第2次安倍晋三内閣が発足し平成25年の幕が開きました。安倍政権は、経済政策として「アベノミクス」を打ち出し、株価上昇などの明るい兆しも見え始めてはおりますが、円安に伴う消費者物価の上昇や平成26年4月からの消費税増税の決定など、各家庭においてはまだまだ苦しい状況が続いております。

10月には、伊豆大島で大雨による大洪水が発生し、多くの方が犠牲になったことが記憶に新しいところですが、日本各地でこれまで経験したことが無い、豪雨や竜巻など異常気象が発生しております。

また、東日本大震災が発生して2年9ヶ月が経過し、少しずつ復興の足音が聞こえておりますが、被災地ではまだ多くの方が避難生活をよぎなくされており、今後の生活の目処が立たない状況が続く中、福島第一原発では、汚染水問題が表面化するなどの問題が山積しております。

そのような中、2020年オリンピック開催地が東京に決定し日本中が湧き上がり、スポーツ界では東北楽天イーグルスの田中将大投手が開幕24連勝という偉業を成し遂げるなど、明るい話題もありました。

当町においては、5月に販売を開始した第2期分譲地の「レ・コードの森スウィートタウン」が順調に販売数を伸ばし、7年目となる定住移住政策も目標を上回る成果を上げております。

産業分野では、基幹作物であるピーマンの販売額が生産開始から初めて4億円を超え、黒毛和牛の素牛販売額も大幅に増加。秋サケ漁も昨年の記録的な不漁から一転回復となりました。競馬界においては、町内の牧場で生産された競走馬がGIレースで大活躍しました。また、道内外において、スポーツや芸術の分野で多くの町民の皆さまが目覚ましい活躍をされたことは大変喜ばしいニュースであるとともに、新冠の誇りであります。

本年におきましても、多くの課題が山積する中で難しいかじ取りを迫られることと思いますが、決してあきらめることなく、町民の皆さまと手を携え、英知を結集し、挑戦を続け、課題を克服していきたいと考えております。

この町で大切に育まれてきた「人と人との絆」「助け合い」「地域を愛する心」を次世代へ繋いでいくため、当町に暮らす全ての人がキラリと光輝くまちを目指し、職員一丸となり全力で取り組んでいきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本年が町民の皆さまにとって、健康で幸多き飛躍の年となりますよう、ますますのご発展をご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。

議会 - 第4回定例会 -

12月17日に招集された第4回定例町議会は、20日、全日程を終えて閉会しました。
今定例会では、小竹町長、杉本教育長の行政報告のほか、今年度の補正予算などが審議されました。小竹町長と杉本教育長の行政報告についてお知らせします。

町長行政報告

消費税増税に伴う各種使用料、手数料の改定について

消費税の改正に伴う各種使用料、手数料の改定について、報告申し上げます。

消費税率を改正することについては、野田政権下で消費税増税を柱とする「消費税法改正法」が可決、成立し、その施行の是非について安倍政権において協議されておりましたが、平成26年4月1日から消費税率8%が決定されました。

消費税率が8%となることで、現行5%の税率を基に設定されており、各種使用料、手数料について改定の必要が生じることとなりますが、使用料、手数料の中でも法令に基づく事務手数料などは非課税であること、また見直しの方法といたしまして、8%に課税した場合の端数処理を、10円単位で徴収している使用料・手数料は、10円未満切り捨て、また、100円以上の単位で徴収しているものは、100円未満切り捨て処理し、100円単位で丸める端数処理を実施した結果、現行3600円以上の使用料・手数料が引き上げの対象となり、全体の約14%の使用料、手数料の改定が必要となっております。

完了しておりますが、本体の建築工事につきましては、当初計画していた「と畜解体処理方式」の見直し、機械処理過程の充実によるグレードアップ、製品に付加価値を付ける為の内臓加工施設の増設、需要の多様化に対応する為の部分肉加工場の拡張、本州及び輸出向けのための冷蔵庫拡張など、当初の計画内容を変更する事となった事から、設計変更に入るとともに、変更内容について詳細を関係者で協議しましたが、最終的には、業務所位置などの内容の一部変更する事で再度図面を作成する事となり、この間、時間を要し着工が遅れる結果となったとの事です。

西泊津地区町有地の活用について

6月定例会の行政報告におきまして、株式会社日高食肉センターに係る「建設用地の造成工事の進捗よく率は75%程度」又「本体建築工事の着工時期が、当初予定されていたスケジュールから約5カ月遅れの本年10月頃に着手予定」と報告させていただきました。建設用地にかかる造成工事は、既に



日高食肉センター建設予定地の現況

また、変更内容の決定を受け、図面の作成後、確認申請などのスケジュールを考慮すると、冬期間の本体工事の着工となり、当初予定していなかったコンクリートの養生費用の増額に加え、冬期間の工事は、種々問題が発生

する事が考えられるため、関係者で検討の結果、本体工事の着工は、平成26年4月、施設の本格稼働は平成27年5月を予定しているとの報告を受けております。
この事から、請負業者であります「前田建設」は、8月28日現場事務所を一旦引き払い、明年4月の工事開始に併せ、現場事務所を再度設置する予定となつていくとの事です。
一方、従業員の新規採用について、最終的にパートも含め80名程度になると聞いておりますが、その内、操業開始の一年前となる来春に、卒業予定の高校生10名を採用する事で既に内定した旨もあわせて報告を受けております。

浦河赤十字病院精神神経科の廃止方針について

浦河赤十字病院精神神経科の廃止に關しましては、第3回定例会において、経緯と町の対応方針についてご報告しておりますが、それ以降の経過について、ご報告いたします。

浦河日赤病院側からの廃止方針を受け、日高町村会は、日高総合開発期成会とともに要請行動をとることにしておりましたので、予定どおり9月30日に、日赤北海道支部、北海道議会議員、北海道保健福祉部へ、10月1日には上京のうえ、日赤本社、厚生労働省、国会議員に対して要請を行いました。

この要請行動において、日赤本社からは、地域への説明が不十分であつ

たことに対し謝罪があり、北海道が設置する、地域懇談会において説明責任を果たしていく考えが示されております。

また、浦河日赤病院に対しては、10月2日に管内議長会が、7町議会の議決書を提出したほか、7日には、管内町村会、及び総合開発期成会が緊急申入書を提出し、それぞれ精神神経科の存続を求めております。

この際、浦河日赤病院の院長から、唐突であった廃止表明について謝罪があり、今回の方針について、日本赤十字社としては「本年度をもっての廃止」という、期限を定めての廃止方針は、棚上げの状態である旨の説明を受けております。

これらの要請行動とは別に、北海道が地域への説明や意見交換の場として設置した、「日高地域精神保健医療懇談会」が、10月7日、11月21日の2回にわたり開催されております。

懇談会は、浦河日赤病院をはじめ、日高医師会・各町保健福祉課長・管内精神保健福祉関係団体・北海道・保健所により構成され、精神神経科の廃止方針の理由や考え方について確認するとともに、地域に与える影響について協議されており、当然、存続に向けた要望も出されておりますが、結論付けには至っておらず、今後も継続して、開催されることになっております。

このように、日赤側からの廃止表明以降、行政をはじめとして、地域住民からも、存続要望の動きがある中で、

現時点において、日赤側から方針について明確な回答はない状況でございます。

本件は、地域医療にとって大きな問題である一方で、日赤病院としても経営赤字に加え、医師や看護師確保などの難題があり、解決は容易ではないことが予想されますが、引き続き管内各町と連携し、対応してまいりたいと考えております。

福祉灯油支給事業の実施について

福祉灯油支給事業につきましては、灯油価格の高騰に対応する、単年度の特別な対策事業として実施しており、昨年度も実施させていただいております。
本事業実施の判断基準としては、灯油価格が100円を超える状況を一つの目安とし、値上がり幅も考慮して、判断することとしており、本年度においても灯油価格を注視してまいりましたが、本年11月初旬の灯油価格は101円、昨年同時期と比べて12円ほど値上がりしております。
値上がりの額は、急激な高騰とは言えませんが、依然として灯油価格は高止まりの傾向で、今後の値上がりも予想されており、近年の厳冬に鑑みずと、影響を受ける方々への支援が必要と判断いたしました。本年度も「あつたか灯油券」を支給させていただいた。たく形で実施させていただきたいと考えてお

ります。
対象となる方は昨年度同様、65歳以上の高齢者世帯・障害者手帳所持者がいる世帯及び、ひとり親世帯の方で、本年度の町民税非課税世帯に該当する方とし、灯油券1万円分を支給させていただきます。こと、明年1月中旬から受付を開始する予定としております。

日高中部4期地区広域農道整備事業に係る事業工期の延伸について

道営農道整備事業として実施している日高中部4期地区広域農道整備事業は平成19年度から平成27年度までの事業期間で、東川地区と美宇地区の間、全体延長6217mの道路改良舗装工事を実施する計画で事業費としては、22億円でございます。

事業の進捗よく状況は、平成19年度から町道元神部町有牧野芽呂線の改良・舗装工事に着手し平成24年度までの実績として全延長、6217mに対し改良工事は、4463mで進捗よく率71・8%、舗装工事は、3612mで58・1%の進捗よく率でございます。

平成25年度分実施計画に基づく事業費は、繰越明許分も含めて5億7040万円、改良工事6000m、舗装工事374m、暫定切土工1154m及び保安林解除などの委託業務を予定しております。
その内、実施分としては、改良工事600mと委託関係などで執行額は、

1億2840万円程度となることから、生じました残予算4億4200万円程度を平成26年度への繰越明許費として対応いたします。

事業負担金が22・5%であることから平成25年度の町の負担金繰越明許費は、9945万円となります。

本年度当初計画事業費に対して、執行率が22%程度にとどまりますが、その理由としては、この地区の計画路線内にあります国有林区間に係る保安林解除について日高振興局と日高南部森林管理署とが保安林解除申請に向けて昨年度より幾度となく協議をしておりましたが、今年度に入り新たな修正指示が多数出され、その修正対応で遅れておりましたが申請が受理され、その後、関係機関の審査手続きを経て、現在は、林野庁において、その内容の審査を終了し12月3日に告示され、来年の1月中旬には当該保安林解除がなされる見込みとなりました。

その結果、平成25年度中に冬期間の保安林内の暫定切土工などの工事ができないことから、先に説明いたしましたように、残事業費を繰越明許費として、平成26年度において早期の工事発注を考えております。

今後の当該工事に係る予定といたしましては、平成26年度は、国有林区間内の暫定切土工1154m及び計画路線の美宇側終点付近並びに東川側終点付近の舗装工1451mの施工予定でございます。

また、平成27年度に、国有林区間内

の改良、舗装工事1154mを実施予定で、平成28年度は、法面の植生工及び道路付帯工を実施し完了する予定であります。

当初計画事業期間は、平成19年度から平成27年度でありましたが、この地区の計画路線内にあります国有林区間に係る保安林解除について解除予定期日が大幅に遅れたことにより、完了年度を1年延ばせざるを得ない状況となり、平成28年度完了する予定と変更するものでございます。

当該路線は、農畜産物や生産資材などの効率的な輸送体系を確立し軽種馬、野菜、肉用牛、水稲などの安定的複合経営を図るために重要な路線であることから、事業工期の1年間の延伸については、町民の皆様に変容ご迷惑をかけることとなりますが、日高振興局と更に連携を密に行い変更された事業計画が予定どおり完了するように努力して参りますのでご理解をお願い申し上げます。

平成25年度一次産業の概況について

平成25年度の一次産業の概況につきまして、新冠町農協及びひだか漁協取り扱いの販売実績によりご報告申し上げます。

はじめに農産部門ですが、水稲は全道的に作柄が良く、本年の作柄は「やや良」という結果でありましたが、本町では作付面積の減少に加え、夏場の

農業支援員の就農見込みについて

地域おこし協力隊・農業支援員事業は、新規就農など農業の担い手づくりと併せ、地域活動を支える人材を確保するため、地域おこし協力隊の制度を活用し、都市部から人材を募集して当町への定住と新規就農を結びつけることを目的に、新冠町、新冠町農業委員会、新冠町農業協同組合、日高農業改良普及センター、日高地区農業共済組合で構成する新冠町地域担い手育成総合支援協議会において、平成23年度から取り組みを進めております。

本事業では、ピーマンを中心とする施設野菜や酪農、肉用牛の農作業を通じて、農業の基礎研修を行い、将来的に当町で独立・雇用就農ができるよう、農業技術の指導や経営ノウハウの伝達など本事業の目的を理解し、賛同された農家の協力を得ながら事業を進めております。

高温障害の影響から品質は低下し、反収・収量とも前年を下回り、反収は前年から9キロ減の307キロ、収量は前年から29トン減の668トンとなりました。販売単価につきましても、1俵当たりの仮渡単価が前年から1500円の減額があったこともあり、2500万円減の1億3053万2千円となりました。

なお、一等米出荷比率においては、穀類出荷施設の能力が活かされ、今年度も全量100%の出荷となっております。

秋まき小麦につきましては、前年度と比較して反収が若干上回ったものの、作付面積の減少に加え、雪解けが遅く、登熟期の干ばつの影響から製品歩留まりが低く、収量は16トン減少し、62トンとなりました。なお、11月末日現在で追加精算額の内容が示されていないため、販売金額・販売単価については記載しておりませんが、前年並みの販売単価が確保される見込みにあります。

そ菜につきましては、前年度と比較して全般的に販売単価が上回り、総販売額は1億4100万円ほど上回る6億1890万6千円となりました。

基幹作物でありますピーマンは、作付農家・作付面積とも前年から減少し、加えて春先の低温・日照不足の影響から収量は前年を93トン下回り、1294トンとなりましたが、府県産の作柄が悪かったこと及び名古屋を中心とする本州市場への安定した出荷体制を整えたことから、販売単価

牛での農業体験を積み、基礎的な生産技術の習得と支援員本人が目指す営農形態の見極めを行い、2年目には支援員が目指す営農形態に応じた受入先において、専門的な技術の取得と具体的な営農計画づくりに着手し、3年目には引き続き受入農家での技術取得や経営的な指導も含めての研修と併せ、就農候補先との調整や就農準備を進めることとしております。

農業支援員として6名の方が当町に移住し、将来の就農に向けた研修を続けておりますが、本年度で3年目となる3名の方の就農及び就農見込みについてご報告いたします。

先ず、恵庭市から転入された白戸雄太郎（しらとゆうたろう）さんですが、ピーマンを中心とした施設野菜に、露地野菜を加えたそ菜農家として、3年以内の独立就農を目標に、農業支援員卒業後も研修を継続したいとの意向でありますので、受入候補先の農業生産法人と協議を続けておりましたが、法人側の都合もあり10月末日をもって農業支援員を解職し、11月1日からは法人の従業員として雇用就農されております。

次に、札幌市から転入された立桶奏（たておけそう）さんですが、ピーマンを中心としたそ菜農家を目指され、6月7日付けで認定就農者として北海道知事の認定を受け、11月26日には認定農業者として町も認定し、現在、独立就農の準備を着々と進めているところでございます。就農先は里平地区で

は前年を118.5円上回る379.2円の高値取引となり、販売額は生産開始から初めての4億円台となる4億9064万円となりました。

軽種馬生産であります、北海道市場での販売取引実績では、売却頭数が199頭で前年から17頭の増となり、売却率においても2.7%の増、売却額も5900万円増の8億5044万8千円となりました。

一頭平均価格では、前年を若干下回り、427万4千円となり、市場上場に係る検査経費やコンサイナー、種付料など様々な生産コストが上昇傾向にあり、依然として経営は厳しい状況が続いております。



共進会場で行われた黒毛和牛の体格審査

酪農においては、生産戸数・乳量が減少したこともあり、乳代は前年を2600万円ほど下回り6億5999万9千円となりました。

ピーマン栽培をされていた方の跡地で、ビニールハウス12棟でのピーマン栽培を予定し、年明け2月頃から農業者として本格的なスタートを切ることにいたします。

最後に、札幌市から転入された幕田知行（まくたともゆき）さんですが、3月末で農業支援員終了後、1、2年間の独立就農を目指し、その間は引き続き生産法人での雇用就農などにより農業技術の取得と経験を重ねたいとの希望でございます。現在は就農候補先との協議を進めながら、4月以降の雇用就農或いは青年就農給付金などを活用した研修先の選定を進めている状況にあります。

各地の市町村で地域おこし協力隊制度を活用されている事例は多数ございますが、成功事例の裏では委嘱期間中にリタイアをされる方も多いとの話も聞いてございまして、当町の農業支援員につきましても、受入農家や地域住民からの温かいご支援やご協力もございまして、比較的順調に推移しているものと判断しております。

なお、現在、2年目研修を受けている1名、今年度採用された2名がおりますが、いずれも町内でピーマン生産主体の施設野菜生産経営や酪農経営を希望されていることから、今後も研修だけではなく、就農候補地の確保や資金面、指導体制などを充実させ、町内の就農を後押しさせていく考えであります。以上が農業支援員の就農見込みについての報告であります。

肉用牛におきましては、主力の黒毛和牛の素牛販売において、売却頭数が前年より40頭少ない996頭になったものの、口蹄疫や安愚楽牧場の経営破綻、東日本大震災などの影響による素牛不足から高値取引が続ぎ、販売額は前年を5372万4千円上回る4億9628万2千円となっております。

肥育牛販売においては、生産戸数・売却頭数の減もあり、販売額は前年を1571万5千円下回る1億50万円となりました。

交雑種においては、素牛と肥育の生産戸数・販売頭数ともに前年度を下回りましたが、販売額ではともに前年を上回る結果となり、素牛は1億7761万5千円、肥育牛では2328万4千円となりました。

次に水産業であります、本年11月までの魚種別漁獲状況は、カレイ、シヤマモなどの漁獲量は減少したものの、販売額の単価が高水準であったことから漁獲高はカレイ類で前年比12%増の1371万2千円であります。

主力の秋サケにおいては、前年度、記録的な不漁に見舞われましたが、今年度は、漁期前半、海水温が高いことも影響し思うような漁獲がありませんでしたが、9月中旬から10月中旬に漁獲量が回復し、最終的には前年より241%増の652トン、漁獲高も210%増の約2億9000万円となっております。

また、漁家の経営安定化を図るた



町営牧野で研修する農業支援員

宮城県山元町復興支援イベントへの参加結果について

東日本大震災復興支援事業として、今年度も宮城県山元町のふれあい産業まつりに参加しましたので、その概要を報告させていただきます。

このイベントは、復興支援事業として今年で3回目の開催となるもので、地元産品の即売やリング狩り体験のほか、本町をはじめ全国の多くの自治体が出展する復興ブースでは各地の特産品やご当地グルメなどを販売し人気を博しております。

本町は、商工会青年部11名、町職員2名が地域産業6次化推進事業の一環で試作しております、新冠産黒毛和種経産牛のハンバーグと骨付きソーセージ、昨年好評だったピーマンピザ、そして、カップとろろの4品を販売し、売上は9万8500円程になりましたが、これは全額復興支援金として山元

町に寄付して参りました。今回は私も参加し、山元町の被災地の復興状況や産業まつりを視察したところでありますが、まつり会場には約3万2千人の方が来場され大変盛況で、本町ブースも商工会青年部員の皆さんの盛り上げにより多くの方に利用いただき、一時は行列ができるほどで、商品も予定した時間前に売り切れる状況でありました。

また、参加した商工会青年部の皆さんは、東日本大震災についても関心が高く、まつりの前日と翌日に、福島県や宮城県の被災地を訪れ復興状況などを視察し、新冠町の防災への取組などに積極的な意見交換をされたとのことであり、今後の地域の防災対策などで活かされる事を期待しているところでもあります。

以上が、山元町復興支援イベントへの参加結果であります。

国保診療所・医師の就任について

国保診療所の医師体制は、現在、所長のみの常勤医師1名体制と出張応援医師により診療所の全ての診療業務を対応いただいております。

当診療所は町立の診療所として、地域に根づいた医療と保健・福祉との連携による予防事業を推進して行く上において果たすべき役割は重要と考えておりますが、近年、特に厳しくなっている地域の一次医療機関における医師

の確保など、医療の運営環境の中で公共の福祉の増進と効率的な運営をより強く推し進めて行かなければならないことから地域医療に関心が高く、率先して取り組んでいただける医師の招聘について関係機関への紹介など、協議を重ねてまいりましたところ、この度道内の市立病院に勤務されており、また一般内科医師との交渉がまとまり、来年の4月に当診療所に就任されることになりましたので、ご報告申し上げます。

内科医師としてお迎えする先生は、現在、赤平市の市立病院に勤務されている服部晃好（はっとりあきよし）先生であります。

服部先生は宮崎医科大学医学部を卒業後、長崎大学医学部付属病院をはじめ、勤医協中央病院、富良野協会病院、医療法人社団三意会・我妻病院での研修医期間を了し、現在、市立赤平総合病院の内科医として勤務されております。

現在の市立赤平総合病院には来年3月まで勤務した後、3月中旬過ぎに当町に転居し、4月から診療を開始する予定となっております。

服部先生の着任によりまして、常勤医師体制は所長との複数体制となりましますことから、現在、所長1名体制による業務負担軽減策として実施しております。まず入院制限及び平日診療の一部休診につきましては従来の診療体制に戻すこととしております。

なお、今後の診療所運営においても



新冠小学校での学習発表会

認定こども園ド・レ・ミの教育・保育について

11月16日、ド・レ・ミのおゆうぎ会をレ・コード館において開催しました。

園児たちは、会場を埋め尽くす多くの保護者や祖父母、地域の方々が見守る中、町民ホールステージ一杯に日頃の教育・保育活動の成果を表現しておりました。

また、おゆうぎ会で発表した演目を恵寿荘やあいあい荘、おうるの郷などの入所者の方々にも見て頂くため、それぞれの施設を訪問し、また、ひとり暮らしふれあい年越し会にも招かれ、高齢者との交流を深めております。

また、12月3日、4日の二日間をフリー参観日とし、保護者のもとより、地域の方々にも多数来園いただき、開

教育長行政報告

学校教育の推進について

教育委員の活動

10月24日に様似町で開催された、管内教育委員研修会に参加し、卒業式などにおける国旗掲揚及び国歌斉唱の適切な実施について、管内各町教育委員との意見交換を行うとともに適切な指導について研修してまいりました。

さらに、各校の行事などにも積極的に参加し、学校の実態を踏まえた教育委員の活動を展開してきています。

確かな学力の育成

12月2日には、新冠町教育研究協議会の第2次研究会が開催され、各部会による授業公開が行われ、学力向上に向け、ICTを活用した指導方法などの研究協議が深められました。

教育委員会としましては、今後ともこのような教職員の研修が充実、継続されるよう、支援して参ります。

このほか、保育士が、新冠小学校の参観日に参加し、保育所卒園児の授業の様子を参観するなど、幼・小・中の連携を深めております。

協同体制づくりと専門的な指導

これまで、認定こども園ド・レ・ミでは、様々な研修機会を設け、保育士の資質向上に努めておりますが、11月6日と8日には、当町と同様、幼保連携型の形態をとっている、土幌町、ニセコ町の認定こども園の視察研修を行いました。また、11月23日には、専門講師を招聘し、教室などの環境づくりや教材・遊具の適切な活用方法について実践的な研修を実施するなど保育士の研修を深めております。

幼・小・中の連携

今年も新冠中学校の3年生がド・レ・ミを訪れ、絵本の読み聞かせや折り紙の指導などの保育実習を行い、園児・中学生ともに貴重な体験・交流の場となりました。



園児に絵本の読み聞かせをする中学生

日高教育局の指導主事による学校訪問
新冠小学校は9月26日、朝日小学校は11月21日に実施され、指導技術向上に向けた取組と、各校の研究課題に即した研修など学校の抱える研修課題解決に向け指導主事を有効に活用した研修活動が実施されました。

豊かな心身の育成

新冠小学校では10月18日に学習発表会が、朝日小学校では10月26日に学芸会が行われました。

「ふるさとかるた」を題材にふるさとにかつぷを調査研究した内容の発表や「平和と友達の大切さ」を考えさせる劇など工夫を凝らした内容でした。

また、新冠中学校では、10月4日、7日の両日、学校祭が行われ、第2日目では、今年もレ・コード館のステージで吹奏楽部の演奏と合唱コンクールが行われ、真剣な表情に対し来場頂いた多くの保護者や地域の方々からあたたかい声援を受けておりました。

また、キャリア教育については、11月8日に3年生全員が21事業所において職場体験を行うなど、将来の職業や自らの生き方について考える貴重な取組を進めました。

また、2年生は、11月14日から15日に、札幌市内の専門学校において体験学習

このほか、保育士が、新冠小学校の参観日に参加し、保育所卒園児の授業の様子を参観するなど、幼・小・中の連携を深めております。

さらにド・レ・ミでは、昨年からは毎月、様々なケースを想定した避難訓練を実施し、幼児に対する防災教育を推進しておりますが、10月22日には、新冠小学校と合同による避難訓練を実施しました。

同時に地震が発生し大津波警報が発令されるという想定で、それぞれが東町避難路を経て泊津高台へと避難するもので、避難路における小学生と園児との関わりについて検証しようとして行ったものでしたが、ド・レ・ミ園児は、避難開始から8分程度で、避難階段を登り切り、高台で小学生を待つ形となりました。

今後は、新冠中学校も含めた、幼・小・中合同の訓練についても視野に入れ、実践的な防災教育の充実を検討したいと考えております。

社会教育の推進について

レ・コード館の活動

12月6日エジソンが蓄音機を発明した「音の日」にちなみ、ゆーあい天馬、あいあい荘、恵寿荘、おうるの郷において蓄音機による出張レコードコンサートを行いました。なつかしいレコード音楽に触れ、往時のことを思い出しながら感激されている様子が見られました。

11月23日には、レ・コード館ジュニアジャズバンド10周年記念となる定期公演が実施され、400名を超える観客の下、現団員と卒業生、ブルーホースなどの演奏により盛大かつ好評に終了いたしました。

10月15日、生涯学習講座として6回開設していた「英会話教室」の最終日でありましたが、受講者から閉講を惜しむ声が多かったことから、再度開講することとし、今後、4回の開催を予定しております。



つうがく合宿の学習時間の様子

青少年の取組
 放課後子ども教室特別事業として10月6日「秋のおたのしみ広場」を町民センターにおいて実施いたしました。

児童が参加協力しながら、音楽を楽しむとともに楽器づくりや、びつくり箱による読み聞かせ、女性コミュニケーション会議によるお菓子の提供などを行い、200名を超える幼児、児童、親子が集まり好評に終了しております。

11月5日～9日、4泊5日の日程により、学び・遊ぶ・つうがく合宿事業を青年の家において実施いたしました。

新冠小学校、朝日小学校4、5年生20名の参加があり、規則正しい生活習慣を身に付けるとともに、今回は日高教育局、国立大雪青少年交流の家の協力を得ながら、保護者向け講話、夜読書を盛り込み実施しました。

次回2月に本参加者を対象に、生活の向上にどう変化があったかを調査するとともに規律ある生活習慣の必要性

について研修させたいと考えています。

高齢者教育の取組
 10月25日には第6回目の高齢者大学いきいき大学として自分の人生を振り返るエンディングノートの作成について、11月27日にはクリスマスにちなんだフラワーアレンジメント教室を実施しております。

郷土資料館の取組
 11月7日レ・コード館において「新冠御料牧場の光と影」と題した、ふるさと再発見講座を実施いたしました。

苦小牧市郷土文化研究会会長の山本融定氏を講師に招き、明治から戦後にかけての御料牧場の歴史についてわかりやすく説明していただき、当日44名の参加がありました。また、11月7日から12月14日にかけて、移動展示として「新冠御料牧場の歴史展」としてレ・コード館、資料館において特別展を実施しております。

また、本年度より「幌尻岳」の名勝指定に向け取り組んでおりましたが、この度、10月17日付けをもって、正式に名勝として指定されましたので、今後、広報などを通して町民の皆さんに周知してまいりたいと考えております。



「食」にまつわる本の特別展示

社会体育事業の取組
 10月13日体育協会主催によります体育の日記念ソフトボール、ミニバレー、パークゴルフ大会が開催され、16自治会32チーム231名の参加がありました。また、同日行われた体育協会表彰では7名がスポーツ賞を受賞されております。

12月1日、旧節婦小学校体育館を社会体育施設の節婦体育館として位置づけ開設いたしました。

当日、運動能力を高める効果があり、全国的に学校授業にも取り入れられている「コーデイネーショントレーニング」について講師を招き、親子向け、指導者向けの講習会を実施し、70名を超える参加者があり好評に終了しております。

最後に、9月定例会において報告した教育委員会の平成24年度の活動評価については、9月20日、町のホームページに公表をいたしました。

評価内容について、改善できるものについては、速やかに対応しておりますが、評価の低い項目については、課題の解決に向け、教育委員会の活動の活性化を図りながら、来年度の施策にしっかりと位置付けて取り組んでまいりたいと思っておりますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。

平成25年度 新冠町功労賞・善行賞贈呈式

自治功労賞

片倉 拓司さん (字明和)

永年にわたり農業委員会委員として、自治の振興発展に多大の貢献をされました。

村田 洋さん (字北星町)

永年にわたり副町長として自治の振興発展に多大の貢献をされました。

水上 誠保さん (字北星町)

永年にわたり消防団員として自治の振興発展に多大の貢献をされました。

産業功労賞

眞野 康彦さん (字太陽)

永年にわたり農業協同組合理事として農業の振興発展に多大の貢献をされました。

生活文化功労賞

千葉 寿幸さん (字東町)

永年にわたり自治会役員として地域の振興発展に多大の貢献をされました。

善行賞

苦小牧信用金庫様 (苦小牧市)

本町発展のため多額の財産を寄贈されました。



今年で44回目を迎える平成25年度新冠町功労賞・善行賞の贈呈式が、11月3日文化の日レ・コード館を会場に行われました。

今回受賞された方々は、永年にわたり農業振興に貢献された方、町行政の振興に貢献された方、消防行政の振興に貢献された方、住民福祉の向上に貢献された方、永年にわたる多額の寄付により、町行政の振興に多大な貢献をされた団体の5名1団体です。

贈呈式では、小竹町長の式辞の後、受賞者一人一人に功労章と表彰盾が授与されました。

その後、芳任町議会議長の祝辞、新冠町青年団連絡会議副議長遠藤博文さん感謝の意を込めたお祝いの言葉が送られ、受賞者を代表して眞野康彦さんから謝辞があり閉式となりました。

受賞された方々は、次のとおりです。

井上達也さん 北海道社会貢献賞受賞



11月6日、井上達也さんが国民健康保険事業功労者として平成25年度北海道社会貢献賞を受賞し、表彰状が授与されました。
井上さんは、永年にわたり、新冠町国民健康保険運営協議会の委員を務められ、町民の健康づくりの推進に多大な貢献をされた功績が認められ、この度の受賞となりました。

にいかつぷホロシリ乗馬クラブ 第16回ほろしりCUP



11月10日、にいかつぷホロシリ乗馬クラブで第16回ホロシリCUPが開かれ、悪天候の中、37名が熱戦を繰り広げました。
選手たちは、ジムカーナ競技など4つの競技に参加し、人馬一体となった技術を披露し、最優秀賞のホロシリCUPは、小障害A飛越競技に参加した細川映里香さんが獲得しました。

田原口さんと小島さんが入賞 中学生の税についての作文



11月13日、第47回中学生の税についての作文で、新冠中学校3年の田原口咲弥さんが北海道納税貯蓄組合連合会長賞、小島夕風さんが浦河税務署の大野木署長より表彰状が贈られました。
また、新冠中学校も租税教育の推進に尽力されたことに対し、表彰状が贈られました。

新冠町商工会青年部 復興応援のため産業祭に参加



11月23日、新冠町商工会青年部員11名が、宮城県山元町で開かれた「ふれあい産業祭」に参加し、町特産のピーマンを使ったピザなどを販売しました。
会場では、持参した商品が終了1時間前には完売するほど盛況となり、当初の予定を大きく上回った売上金は、全額を山元町の復興のために寄付しました。

稗田龍太さんに旭日双光章 宮坂義潔さんに瑞宝双光章



この度、高齢者叙勲として、稗田龍太さんに旭日双光章（地方自治功労）、宮坂義潔さんに瑞宝双光章（郵政事業功労）が授与されました。
稗田さんは、永年にわたり町議会議員として、地方自治の振興発展に貢献
宮坂さんは、永年にわたり郵政事業に尽力されたご功績により、今回の受賞となりました。

その1

話 題

あ れ こ れ

ま ち の

ジュニアジャズバンド 創立10周年の大演奏会



11月23日、レ・コード館市民ホールで、レ・コード館ジュニアジャズバンド10周年記念公演・第7回定期演奏会が開かれました。
活動10年目となった今年の演奏会では、ジャズバンドメンバーだけではなく、バンド卒業生、地元講師、プロ奏者が出演する豪華な演出が続き、来場者からは、演奏のたびに大きな拍手が沸き起こっていました。
新冠中3年のバンドリーダー有田うららさんは「プロ奏者との共演がとても緊張しましたが、大変なことでもあったけど、今まで続けてきて良かったです」と話してくれました。

日本棋院道南地区支部対抗囲碁大会 日高支部は3チームが参加



11月17日、レ・コード館市民ホールで、第51回日本棋院道南地区支部対抗囲碁大会が開かれ、18チーム90名が参加しました。
大会は、1チーム5人で編成、計5試合のチーム成績で競われ、日高Cチームは3位に入賞しました。
また、会場では、遠藤悦史七段による子ども囲碁教室も行われました。

地域医療講演会 寝たきりにならないために



11月19日、レ・コード館市民ホールで、地域医療講演会が開かれました。
「生活習慣と心臓病」と題された講演では、新ひだか町立静内病院の小松幹志院長が、心臓病の事例や病気の解説、定期的な健診の必要性について説明。さらには、病気になるための食生活や生活習慣について説明しました。

チャイルドランド事業 飾り巻きずしづくりに挑戦



11月21日、子育て支援センター（認定こども園ド・レ・ミ内）で、巻きずしに花や動物の模様を描く、飾り巻きずしづくりに挑戦する講習会が開かれました。
参加者は、「巻きずしづくりは難しいと思っていたけど、コツをつかむと意外と簡単で、子どもたちからも大好評でした」と感想を話してくれました。

小中学校3校でふるさと給食 新冠の秋の味覚に舌鼓



11月21・22日、町内の小中学校3校でふるさと給食が行われ、町内でとれた野菜や鮭、牛乳などが提供されました。
ふるさと給食は、町内で生産された食材を味わうとともに、生産者の顔や取り組みを学び、食に対する理解を深めることを目的とした事業で、今年は各学校で2回実施されました。

朝日小学校

朝日の森集会開催



11月29日、朝日小学校校体育館で、児童たちが総合学習の時間などを使い学習してきた自然環境の大切さについて発表しました。
全校児童と地域の関係者約50名が集まった会場では、子どもたちが模造紙や模型などを使いながらわかりやすく、森の仕組み、米づくりや競走馬などについて紹介しました。

認定こども園のフリー参観 保護者・地域の方も来園



12月3・4日の2日間、認定こども園ド・レ・ミで保護者や地域の方に園の様子を見学してもらうフリー参観が行われ、2日間で計120名が来園しました。
子どもたちの日頃の様子を地域の人が見学できる同様の事業は、町内の各小学校でも行われており、毎回多くの方が見学に訪れています。

節婦体育館

リニューアルオープン



12月1日、旧節婦小学校の体育館が改修され、新たに節婦体育館としてリニューアルオープンしました。
体育館は、床材の研磨、トイレの改修が行われたほか、新しく暖房設備が設置されました。
今後は地域の方々の社会体育施設として、活用される一方、引き続き、節婦地区の災害時の避難施設としても活用されます。
この日はリニューアルを記念して、「ゴオーデイナーショントレーニング親子体験会」などの事業が開かれ、体育館には子どもたちの歓声が響いていました。

その2

ま ち の 話

題

あ れ こ れ

新冠町防犯協会 商工会と連携しカラーボール配備



12月2日、新冠町防犯協会（谷口貞保会長）は、歳末防犯運動の一環として、新冠町商工会と連携し商店など10店舗に防犯用カラーボールを配備しました。
同協会は、歳末防犯運動強化を図る目的で、国道沿いに「空き巣にご用心」の防犯旗の設置も行うなど、安全安心な地域を目指し、防犯活動を続けています。

若妻会の仲間がサプライズ デイマシオ美術館で結婚式



12月4日、太陽の森デイマシオ美術館で、太陽在住の内藤純哉さんと妻の葵さんのサプライズ結婚式が開かれました。
結婚式は、太陽自治会若妻会の友人などが中心となり企画され、二人の為に準備が進められてきました。
当日は友人や地域の方など約50人が集まり、二人の晴れ舞台を祝福しました。

民生委員・児童委員改選

永年の活動に感謝状

12月4日、新冠町役場で、永年にわたり民生委員・児童委員として貢献された3名の方々に、小竹町長から感謝状が手渡されました。また、今年度は3年に一度の斉改選の年にあたり、新しく選任された3名を含む21名の委員に辞令が交付されました。
退任される方々

- ・寺田トミエさん（東町）
 - ・下久雄さん（節婦町）
 - ・對馬正さん（若園）
- 新しく選任された方々



- ・大澤多恵子さん（東町）
 - ・扇谷勉さん（節婦町）
 - ・大森定明さん（泉）
- 任期は平成25年12月1日から平成28年11月30日までです。

もちまき・イルミネーション点灯式・ パンまき、行事いっぱい週末



12月7日、レ・コード館では、親子で楽しめる行事が目白押しとなりました。
町子連主催のもちつき体験・もちまき、びっくり箱の冬のお楽しみ会、商工会青年部主催のイルミネーション点灯式と続き、最後に青年団体連絡会議主催のパンまきが行われました。館内には一日中笑顔があふれていました。

新冠町PTA連合会研究大会 家庭教育学級研究大会



12月8日、レ・コード館で、新冠町PTA連合会（佐々木貴司会長）主催による研究大会が開かれ、67名の参加者が集まりました。
大会では、札幌から塩谷隆治講師を招き「笑顔のパパママ増量大作戦」と題して、生活習慣の改善とコミュニケーションの重要性などについて、講演が行われました。

新冠町和牛生産改良組合 全国和牛登録協会表彰受賞



12月11日、新冠町和牛生産改良組合（青木真一組合長）が、全国和牛登録協会表彰を受け、小竹町長に受賞の喜びを報告しました。
今回の受賞は、同組合の平成24年分晩間隔が特に優秀であったことが評価されたもので、青木会長は「今後も効率的な生産と質の向上に尽力していきます」と抱負を語りました。

市民劇団ど・こーれ新冠 「死神ペドロ」定期公演開催



12月14日、レ・コード館町民ホールで、市民劇団ど・こーれ新冠の第16回定期公演が開かれました。
今回の演目となった「死神ペドロ」は、脚本から演出まで全てがオリジナルとなっており、出演した17名の子も達は、まばゆいライトの光を浴びながら、精一杯、演技や歌、ダンスを披露していました。

けんこうガイド

年に一度の健康チェック
していただけますか？

みなさんは毎年、特定健診・がん検診を受けていますか？

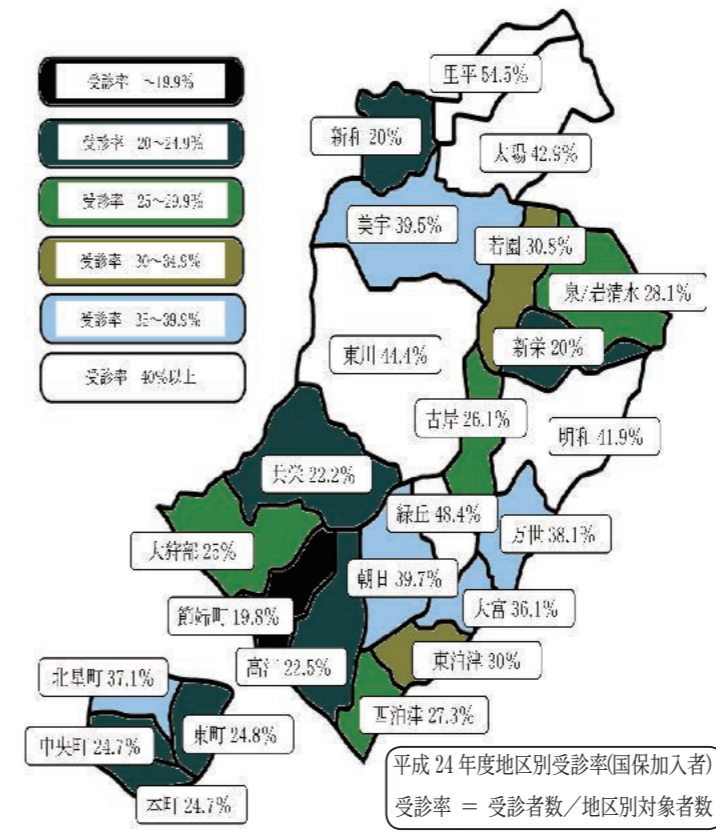
新冠町の特定健診受診率は約30%前後と国の目標値である60%までは届いていません。左記に平成24年度の新冠町特定健診受診率を地区別に載せています。みなさんの地域の受診率はいかがですか？

特定健診は、メタボリックシンドローム（以下メタボ）を中心とした生活習慣病を予防・改善するための健診です。日本人の6割は、メタボ

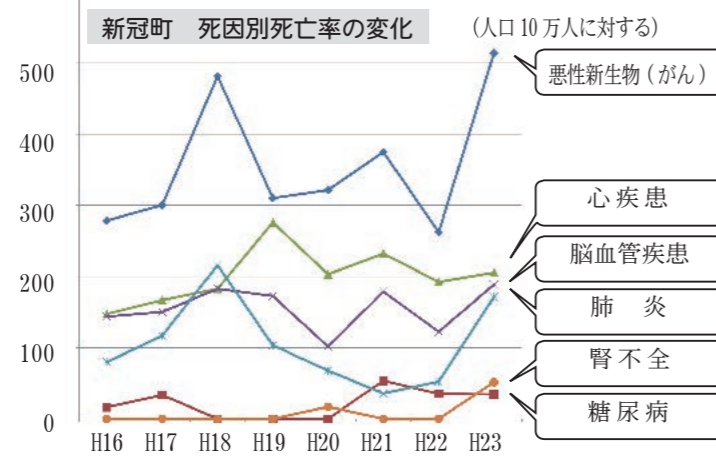
などの生活習慣病で死亡しています。新冠町の死因別死亡率を見ると、悪性新生物（がん）・心疾患・脳血管疾患は年々増加傾向にあります。これらの病気は生活習慣病とも呼ばれ、生活習慣により、良くも悪くもなる病気です。

しかし、放っておくと症状の出ないまま重症化し、いきなり心臓病や脳卒中の発作が起こったり、重度の糖尿病合併症が起こって不自由な生活を余儀なくされたりします。

新冠町地区別 特定健診受診率



新冠町の死因別死亡率の変化は、左記の図のとおりです。平成23年度段階では、悪性新生物（がん）が突出して増加しています。がんは不治の病ではありません。がんがまだ1〜2cm程度の早期に発見することができれば治癒率は格段に上がります。このことからがん検診の重要性がわかります。



町では、年3回の特定健診・がん検診を実施しています。健診は自分の健康状態を知り、生活を見直す機会になりますので、年に1度、ご自分の健康チェックをしましょう。

今後の集団検診の日程

日程	内容
2月2日	特定健康診査・胃がん検診・大腸がん検診
2月3日	肺がん検診・前立腺がん検診 肝炎ウイルス検査
2月16日	乳がん検診・子宮がん検診

日程が合わない方は、次の医療機関でも特定健診を受診することができます。

- ・新冠町立国民健康保険診療所
- ・医療法人 静仁会静内病院
- ・北海道勤労者医療協会厚賀診療所
- ・JA北海道厚生連
- ・札幌厚生病院健診センター

※予約が必要となりますので、直接、医療機関へご連絡ください。
【お知らせ】
今年度特定健診を受診された方には、新冠町指定ゴミ袋を（大10枚入り）を呈呈しています。

対象者は、40歳以上の国民健康保険加入者、後期高齢者医療制度加入者です。なお、40〜74歳の国民健康保険加入者で、職場などで健診を受診された方は健診結果を保健福祉課窓口までお持ちいただければ、ゴミ袋を進呈します。

●問い合わせ先
保健福祉課保健福祉グループ健康推進係
☎0146・47・2113

月日	時間	事業名	場所
2月 7日(金)	13時30分〜15時30分	こころの健康相談	保健センター
1月 22日(水)	13時00分〜16時00分	女性の健康相談	保健センター
2月 10日(金)	13時30分〜15時30分	こころの健康相談	保健センター
2月 16日(日)	8時30分〜14時30分	婦人科健診	保健センター
2月 14日(金)	10時00分〜12時00分	お喜楽☆おたっしや塾	保健センター
2月 10日(月)	10時30分〜12時00分	からだリセット講座	レ・コード館
2月 7日(金)	10時00分〜12時00分	お喜楽☆おたっしや塾	保健センター
2月 3日(月)	6時30分〜11時00分	特定健診 胃・肺・大腸がん検診 前立腺がん検診	保健センター
2月 2日(日)	受付	特定健診	保健センター
2月 31日(金)	10時00分〜12時00分	お喜楽☆おたっしや塾	保健センター
2月 28日(火)	10時30分〜12時00分	からだリセット講座	レ・コード館
2月 24日(金)	10時00分〜12時00分	お喜楽☆おたっしや塾	保健センター
2月 17日(金)	10時00分〜12時00分	お喜楽☆おたっしや塾	保健センター
2月 16日(木)	9時45分〜	健康診査	保健センター
2月 15日(水)	13時00分〜16時30分	フッ素塗布	保健センター
2月 14日(火)	13時00分〜12時00分	BCG予防接種	保健センター
2月 9日(木)	9時30分〜13時40分	おやこの楽しい料理教室	保健センター

介護ワンポイントアドバイス ⑭

新冠在住の方が利用できるサービスの紹介

町独自サービスのご紹介

『独居老人等緊急通報システム』
『端末電話機設置事業』

ひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦、障がいのある方など、緊急の連絡体制が必要と思われる世帯に対し、緊急通報システム端末電話機（ボタンを押すと消防署につながる機器）を無料で貸し出します。



『高齢者等買い物支援事業』
『らくらくにいかっぷ』

高齢による体力低下などにより、日常生活を維持するために必要な買い物に困難となっている高齢者などの世帯に対し、新冠町商工会やAコープ新冠店と共同して、宅配と移動販売を行います。



介護のことは、お気軽にご相談ください。介護支援係 高橋 昌嗣
●保健福祉課保健福祉グループ介護支援係 0146・47・2113 (直通)

お知らせコーナー

1月10日・110番の日

110番は、事件・事故などが発生した場合、警察に緊急通報するための電話です。急を要しない相談や照会は、警察相談電話「#9110」、静内警察署、または、交番駐在所にお問い合わせください。110番に出た警察官が、事件・事故の内容に応じて必要な事項を質問しますので、あわてず落ち着いて答えてください。

移動しながらの通話は途中で電話が途切れることがあります。また、車を運転しながらの通報は法令違反ですので、必ず安全な場所に停止してから通報してください。警察官が早く現場に到着できるように、その場所の住所や目標となる建物などを正しく伝えてください。

お問い合わせ先
静内警察署
☎0146・43・0110

優良運輸事業者の活用

北海道運輸局では、全国に先駆け平成24年3月より「優良事業者等利用促進キャンペーン」を実施しております。この取り組みは、関係業界団体などが実施している安全面や環境面に優れた運輸事業者の認定・認証制度について広く周知を図るとともに、優良事業者の利用を働きかけるもので、運輸事業者、利用者と国が三位一体となって「安全・安心な社会」の実現に向けそれぞれの社会的責任を果たす上で、大きな意義をもつものと考えております。

つきましては、各認定・認証制度誕生の趣旨について改めてご理解いただき、当該優良運輸事業者を活用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、優良運輸事業者と法令違反などにより行政処分を受けた事業者については、北海道運輸局HPに

お問い合わせ先

北海道運輸局交通環境部消費者行政・情報課
☎011・290・2725
HP <http://www.tbmlit.go.jp/hokkaido>

自衛官募集のお知らせ

次のとおり自衛官を募集します。

- 自衛官候補生(男子)
 - 資格 満18歳～満27歳
 - 受付 通年受付
 - 試験 受付時にお知らせ
 - 高等工科学校生徒(男子)
 - 資格 中卒(見込)含17歳未満
 - 受付 1月10日(金)まで
 - 一般試験
 - 1次試験 1月18日(土)
 - 2次試験 2月1～4日(土)火
 - 予備自衛官補(男女)
 - 資格 一般公募 18～33歳
 - 技能公募 18～54歳
 - 受付 4月上旬まで
 - 試験 4月中旬
- お問い合わせ先**

自衛隊札幌地方協力本部静内分駐所

☎0146・44・2855

防火管理資格所得講習会

○講習種別
甲種・乙種防火管理資格取得講習会

○期日
甲種 2月27・28日(木・金)
乙種 2月27日(木)

○時間
午前10時～午後4時30分(受付時間9時45分まで)

○場所
日高中部消防組合消防本部3階防災ホール
新ひだか町静内こうせい町2丁目1番1号

お問い合わせ先

○受講対象者
①消防法第8条に基づき防火管理者を選任しなければならぬ防火対象物関係者
②一般受講希望者

○申込 受講申込書に必要事項を記入し、写真(無帽、無背景、正面上三分身像、

縦3cm×横2.5cm 1枚を添付し、日高中部消防組合消防本部警防課へ持参するか郵送してください。

○定員 40名

○申込期間

1月27日(月)～2月13日(木)

※定員になり次第締切

○受講料

テキスト代 3400円

(受講当日に納入。釣り銭の必要がないように願います。)

○その他

受講申込書、講習会実施要領は日高中部消防組合新冠支署HPからダウンロードできます。

お申し込み・お問い合わせ先

日高中部消防組合消防本部警防課
☎0146・45・0160

新冠支署予防係

新冠中・白石高校吹奏楽部合同演奏会

☎0146・47・2666
HP <http://www.tbmlit.go.jp/hokkaido>

恒例となりました、新冠中学校吹奏楽部と白石高校吹奏楽部合同の演奏会「ニューイヤークンサート2014」を開催します。

第一部は、白石高校単独ステージで、「ヨークシャー序曲」「歌手名しりとりメドレー」などを演奏、第二部では、白石高校と新冠中学校の迫力の合同ステージで「アメリカングラフティIII」などの演奏を予定しています。

平成25年度狩猟免許試験

次のとおり、平成25年度狩猟免許試験を実施します。

- 期日 2月2日(日)
- 時間 午前9時～午後5時
- 場所 日高合同庁舎4階講堂
- 受付 12月17日(火)～1月17日(金)
- その他 郵送の場合1月20日到着分まで受付ます。

札幌弁護士会 ひだか弁護士相談センター

○お問い合わせ先

日高振興局保健環境部環境生活課自然環境係
☎0146・22・9254

センター開設日

1月 6日(月)・8日(水)
2月 15日(水)・20日(月)
3月 22日(水)・27日(月)
4月 29日(水)・5日(水)
5月 10日(月)・12日(水)
○利用を希望される方は、事前に必ずご予約ください。
○ご予約・お問い合わせ先
ひだか弁護士相談センター
☎0146・42・8373

ご寄附ありがとうございました。(敬称略)

- ふるさと納税(寄附金)
- ☆井田 昌己 (50,000円)
- 特別養護老人ホーム「恵寿荘」に役立ててと
- ☆葛野 和夫 (古布3袋)
- ☆上井 武光 (じゃがいも22kg)
- ☆新冠ほくと園 (カット布5束)
- ☆向井 アキ子 (タオル3袋)
- ☆故桑野 エミ子 (肌着・おむつ)
- ☆田端 百合子 (古布1箱)
- ☆畑中 政雄 (古布1箱)
- ☆小泉 チズ子 (古布6箱、じゃがいも30kg、かぼちゃ22kg)
- ☆高月 カツエ (白菜10玉、長ネギ12kg、キャベツ10玉、大根45.2kg)
- ☆石井 和子 (肌着、古布、大根59kg)
- ☆高橋 満郎 (大根38.5kg、じゃがいも53kg、長ネギ24.5kg、かぶ9.7kg、白菜21.5kg、かぼちゃ28kg、にんじん2.5kg)
- ☆節婦老人クラブ (カット布3袋)
- ☆ボランティアグループあゆみ (古布4袋)
- ☆ボランティアグループちよほら(カット布6袋)

- 国保診療所に役立ててと
- ☆斉藤 艶子 (古布1袋)
- ☆節婦ほろしりの里 (カット布5袋)

新冠町社会福祉協議会へ

- 福祉事業に役立ててと
- ☆佐藤 美恵 (古布1袋)
- 香典返しに代えて
- ☆河西 広高 (60,000円)
- ☆川村 信之 (50,000円)
- ☆村上 博之 (100,000円)
- ☆高見 扶佐子 (30,000円)
- ☆澤村 義勝 (20,000円)
- ☆細野 八重子 (663円)

OA・文具・家具・カーテン

株式会社
リバティーはしもと
Liberty Hashimoto

TEL(45)-7021 FAX(45)-7022
新冠町字北星町2-61(役場の目の前)

あなたの町のカー & ライフサポーター!!

BRIDGESTONE カーケア & タイヤショップ
SUZUKI ARENA スズキアリーナ新冠
新冠郡新冠町中央町5-28 TEL. (47)-2820

ココロも満タンに
コスモ石油

新和SS (47)-5011 新冠SS (47)-3830

株式会社 伊藤商会

スライダルフラワー・スタンド花・アレンジメント

フラワーつつみ

TEL 0146-47-4878
FAX 0146-47-4879

新冠町字東町 19-18
アレンジ教室開催中!

〈新年のご挨拶〉

日頃より当法人の運営に際しましては特段の御理解と御協力を賜りましてありがとうございます。

本年が皆様方にとりまして幸多き年であります様念じ上げます。

平成二十六年 元旦
社会福祉法人 新冠ほくと園
理事長 前山 佳弘
他 役員一同

すべての相談の相談料が
あなたの悩みに
無料になりました。

コタエを出します

相談予約ダイヤル 0146-42-8373
平日10:00～16:00(12:00～13:00を除く)

札幌弁護士会 ひだか弁護士相談センター

ひだかひまわり基金法律事務所
弁護士 原 英士 (札幌弁護士会所属)

*借金・クレジットの返済 *多重債務 *交通事故 *離婚
*相続・遺言 *家賃滞納・不動産 *悪徳商法 など

借金・交通事故については、初回相談無料です。 ☎(0146) 43-1206
日高郡新ひだか町静内御幸町 3-1-78-2 階 (エクリプスホテル静内向かい)

後期高齢者医療制度のお知らせ

□高額介護合算療養費及び医療費通知について□

高額介護合算療養費は、医療と介護の両方を利用している世帯の自己負担を軽減する制度です。同じ世帯の被保険者が、1年間に支払った後期高齢者医療制度と介護保険の自己負担額の合計が限度額を超えたときは、その超えた額が後期高齢者医療制度及び介護保険から支給されます。手続きは役場窓口にて申請してください。

なお、後期高齢者医療制度または介護保険の自己負担額のいずれかが0円の場合は対象となりません。また、支給額が500円以下の場合には支給されません。

■自己負担限度額表 【1年分の自己負担額の計算期間：8月1日～翌年7月31日】

負担割合	区分	自己負担額の合計の基準額
3割	現役並み所得者	67万円
1割	一般	56万円
	区分Ⅱ(※1)	31万円
	区分Ⅰ(※2)	19万円

※1 世帯全員が住民税非課税である方

※2 世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が0円(公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下)、または老齢福祉年金を受給している方

■医療費通知の送付を希望される方へ

新たに発行を希望される方、また、制度について質問などがありましたら、お手数ですが、役場窓口にお問い合わせください。

●問い合わせ先 保健福祉課保健福祉グループ国保・後期高齢者医療係 ☎0146・47・2113

内閣府「一日前プロジェクト」エピソード No. 6

石油ストーブ、カセットコンロ、湯たんぽ、山の水が大活躍

12月31日の朝、近所の方から「お宅は電気きてる？」と聞かれました。周辺はどこも電気がきてなくて、電力会社へ電話することにしました。しかし、いっこうに繋がりません。みんなで何十回とかけ、やっと繋がりました。電力会社も、こんな事態は想定してなかったと思います。

その日から1月3日の夜7時ごろまで、4日間停電しました。うちはオール電化なので、電気がないと、お正月準備もできません。31日の夜は、深夜電力で温められたお湯が使えましたが、それ以降は使えませんでした。

納屋から石油ストーブを捜し出してきて、お湯を沸かして湯たんぽで暖をとったりしました。カセッ

トコンロも使いました。お正月前で、たくさん買い物をしていたので助かりました。

断水もしていたので、トイレに流す水は山から水を汲んで使いました。ただ凍りついていたので、溜めるのが大変でした。コンビニでも買える時代ですが、今回の経験で、工夫することの大切さを実感しました。



「一日前プロジェクト」とは、地震や水害・雪害などの自然災害で被災した方々や災害対応の経験をもつ方から、色々なお話を聞かせていただき、小さなエピソード(物語)として取りまとめる活動です。

こうしたエピソードをとりまとめることで、災害をイメージし、自分のこととして感じてもらうことにより、明日起きるかもしれない災害に、今日(一日前)から備えていただくことを目的としています。

●問い合わせ先 総務企画課まちづくりグループ防災係 ☎0146・47・2498

役場からのお知らせ

— Niikappu Town Office Information —

その1

年末年始の公共施設などの休業日のお知らせ

役場窓口

12月31日～1月5日

青年の家・町民センター

12月30日～1月5日

節婦体育館・郷土資料館・町民スポーツセンター・レ・コード館

12月30日～1月6日

子育て支援センター

12月31日～1月5日

新冠町立国民健康保険診療所・デイサービスセンター

12月31日～1月5日

新冠・節婦老人憩いの家

12月28日～1月5日

ゴミ収集運搬業務

12月31日～1月3日

健康推進バス

平常営業

動物の火葬業務

12月31日～1月5日

町道の除雪が必要な時

役場にご連絡ください。警備員が常駐し、担当者と一緒に除雪委託業者へ連絡をとり業務を行います。

水道の修理業務

水道の凍結や漏水などがありましたら、下記指定業者に連絡してください。

12月31日

(株)道南 ☎42・3198

1月1日

(有)島山設備 ☎47・3466

1月2日～1月3日

(株)長嶺設備 ☎47・4462

1月4日～1月5日

(有)坂森設備 ☎47・3584

道の駅売店

12月30日～1月3日

ホロシリ乗馬クラブ

12月26日～1月7日

新冠温泉

通常営業

金融機関

新冠郵便局

窓口12月31日～1月5日

ATMは時間を短縮して営業

苫小牧信用金新冠支店

窓口・ATM

12月31日～1月5日

新冠町農業協同組合

窓口12月31日～1月5日

ATM12月31日～1月3日

ひだか漁協新冠支所

窓口・ATM

12月28日～1月5日

ガソリンスタンド

伊藤商会(株)(新冠・新和)

12月31日12時～1月4日

岩倉商事(株)新冠営業所

12月31日15時～1月1日

中山石油(株)

12月31日14時～1月3日

JA新冠スタンド

12月31日13時～1月3日

横山石油

12月31日15時～1月2日

※年末年始は、営業日であっても営業時間を短縮している場合があります。詳細については、直接店舗にお問い合わせください。

記帳・帳簿書類の保存制度について

平成26年1月から、個人で事業や不動産貸付などを行う全ての方は記帳と帳簿書類の保存が必要です。

①対象となる方

個人の白色申告者のうち、事業所得(農業所得、営業所得)や不動産所得、山林所得を生ずべき業務を行う全ての方が対象となります。(所得税・復興特別所得税の申告の必要がない方も対象となります)

②記帳する内容

売上げなどの収入金額、仕入れや経費に関する事項について、取引の年月日、売上先・仕入先その他の相手方の名称、金額、日々の売上げ・仕入れ・経費の金額などを帳簿に記載します。

③帳簿書類の保存

収入金や必要経費を記載した帳簿のほか、取引に伴って作成した帳簿や受け取った請求書・領収書などの書類を5年間保存する必要があります。

●問い合わせ先：財務課税務グループ賦課係 ☎0146・47・2115

水道水放射能検査の結果

新冠町では、安全で良質な水道水の供給を行うため、定期的に水質検査を実施しております。

平成25年11月に、町内全ての浄水場で作られている飲用水に対して、放射能検査を実施いたしました。

検査結果については、放射性ヨウ素・放射性セシウムともに検出されておられません。

【放射能検査項目】

・放射性ヨウ素(ヨウ素-131)

・放射性セシウム

(セシウム-134・セシウム-137)

●問い合わせ先

建設水道課建設グループ上下水道係

☎0146・47・2519

予防接種後健康被害救済制度・マザーリーフ事業について

○予防接種後健康被害救済制度

子宮頸がん予防ワクチンは、本年4月より定期接種化されましたが、ワクチン接種を受けた方の中から痛みやしびれなど、ワクチン接種との因果関係が否定できない事例が発生しています。

そのため、6月以降子宮頸がん予防ワクチン接種の積極的な勧奨は差し控える措置をとっています。

予防接種は感染症を防ぐために重要なものですが、極めてまれに健康被害の発生がみられます。予防接種を安心して受けられるよう、定期的予防接種による健康被害が発生した場合には、救済給付を行うための制度があります。

予防接種の副反応には、ワクチンを接種した後起こる発熱、接種部位の発赤・腫脹（はれ）などの比較的好くみられる軽い副反応や、極めてまれに発生する脳炎や神経障害など重大な副反応もあります。しかし、その副反応はワクチンが原因ではなく、偶然ワクチン接種と同時期に発症した感染症が原因であることもあります。

このため予防接種後健康被害救済制度ではワクチン接種による健康被害であったかどうかを個別に審査し、ワクチンによる健康被害と認められた場合に給付をします。

健康被害救済給付の申請を行う場合は、健康被害を受けたご本人や保護者の方が、役場窓口へご相談ください。

- 定期接種の種類は以下のとおりです。
- 二種混合ワクチン・三種混合ワクチン・四種混合ワクチン・麻しん、風疹混合ワクチン・BCGワクチン・ヒブワクチン・小児肺炎球菌ワクチン・子宮頸がん予防ワクチン・季節性インフルエンザ（B類疾病）

○マザーリーフ事業（不妊治療費助成事業）

新冠町では不妊治療を受けている方の経済的負担の軽減を目的に、不妊治療費の一部助成事業を7月より実施しています。

＜助成内容＞

★治療費が高額で保険適用にならない「体外受精」と「顕微授精」にかかる費用の一部を助成します。

★北海道で実施している「特定不妊治療費用助成事業」に上乘せし、助成します。1回あたり15万円まで、通算150万円を限度に助成します。

★人工授精の場合は、1年度当たり5万円を限度に、通算2年まで助成します。

なお、今年度治療分の申請は平成26年3月31日までとなっておりますので、まだ申請していない方は、忘れずに申請してください。

- 問い合わせ先
保健福祉課保健福祉グループ健康推進係
☎ 0146・47・2113

役場からのお知らせ

— Niikappu Town Office Information —

その2

平成26年度認定こども園ド・レ・ミ 入園児募集のお知らせ

認定こども園ド・レ・ミでは平成26年度入園児を下記の日程で募集します。入園申込書は12月24日から認定こども園ド・レ・ミにて配布しています。

○募集期間 12月24日（火）～1月17日（金）

○募集定員 長時間型保育（保育所）
0歳～5歳児 135名（継続者含む）
短時間型保育（幼稚園）
3歳～5歳児 30名（継続者含む）

○入園資格 長時間型保育
新冠町に在住している「長時間型保育（保育所）入園資格に該当する児童
短時間型保育
新冠町に在住する児童で、平成26年4月1日で満3歳から5歳までの児童

※詳しくは、12月13日配布の町政事務文書「平成26年度入園児募集」をご覧ください。認定こども園へ問い合わせください。

●問い合わせ先
新冠町立認定こども園ド・レ・ミ ☎ 0146・47・2489



水槽付消防ポンプ自動車の更新について

日高中部消防組合新冠支署の水槽付消防ポンプ自動車が12月17日に納車され、18日に役場駐車場で小竹町長にお披露目されました。

今回導入した消防ポンプ自動車は、火災現場において最前線で消火活動を行う車両であり、3000リットルの水を積載することができるほか、消化薬剤の混合装置や、LED式の大型照明装置を備えており、さまざまな火災現場での活動に役立てられます。

もし、皆さんの身の回りで火災を発見した場合、まずは一番最初に自分自身の安全を確保し、落ちて「119番」に通報してください。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

●問い合わせ先：
日高中部消防組合新冠支署 ☎ 0146・47・2666



交通事故防止に係るお願い

12月になり、新冠町内で交通死亡事故が発生しております。

朝晩の冷え込みで、路面は凍結しブラックアイスバーンになっているかも知れません。また、橋の付近も凍結していることが多くあります。路面状況の変化に注意して運転するようにしましょう。

また、冬季間は、フロントガラスなどに雪が積もったまま走行している車両も見受けられますが、大変危険ですので、走行前に、しっかりと雪や霜を取り除き安全運転をお願いします。

常にシートベルトの全席着用と速度の出し過ぎに注意しましょう。

●問い合わせ先：
町民生活課町民生活グループ社会係
☎ 0146・47・2112

まちかどミーティング開催中

町長と語ろうまちかどミーティングは、町長と町民の皆さんが膝を交え、ざっくばらんに話をする地域懇談会で、現在、自治会を中心に開催しております。

同ミーティングは、自治会だけではなく、体育団体や文化団体、産業団体など一定の条件を満たしている団体も対象となります。話をする内容については、町ではテーマ設定などは行わず、事前に団体と協議し、取り上げて欲しい課題や問題などの提案があれば、そのテーマに沿って意見交換を行います。

開催を希望される自治会、団体がありましたら、役場窓口にお問い合わせください。また、町長の日程町政が必要となることから、1カ月前までに申請書を提出してください。

●問い合わせ先
総務企画課まちづくりグループ広報統計係
☎ 0146・47・2498



問い合わせ先

新冠町レ・コード館 図書プラザ
☎ 0146・45・7777

今月の一冊



浅田真央そして、その瞬間へ

吉田 順／著

フィギュアスケーター浅田真央が、バンクーバー五輪以降、ソチ五輪に向かって高みを目指し続けた3年間の軌跡を追うノンフィクション。

真央が感じた喜びと悲しみ、挫折感と達成感、そしてたどりつく希望。ソチ五輪開催の前に読んでおきたい1冊です。

アニマル号 (移動図書館車) 運行日程

1月10日	15:40 ~ 15:55	にこにこくらぶ (児童館)	
	16:00 ~ 16:30	認定こども園ド・レ・ミ	
	16:35 ~ 16:50	あいあい荘 (東町生活館)	
	22日	12:45 ~ 13:10	新冠中学校
		10:10 ~ 10:30	朝日小学校
23日	10:10 ~ 10:30	朝日小学校	
	10:45 ~ 11:00	太陽郵便局	
24日	12:40 ~ 13:05	認定こども園ド・レ・ミ	
	15:05 ~ 15:35	新冠小学校	
	15:40 ~ 15:55	にこにこくらぶ (児童館)	
	16:00 ~ 16:15	あいあい荘 (東町生活館)	
	28日	10:10 ~ 10:30	朝日小学校
10:45 ~ 11:00		新冠こたにがわ学園	
30日	10:10 ~ 10:30	朝日小学校	
	11:00 ~ 11:20	おうるの郷	
2月7日	12:40 ~ 13:05	認定こども園ド・レ・ミ	
	15:05 ~ 15:35	新冠小学校	
	15:40 ~ 15:55	にこにこくらぶ (児童館)	
	16:00 ~ 16:15	あいあい荘 (東町生活館)	

「新着ガイド」

面白いほどよくわかる日本の神様	田中 治郎
イザベラ・バード	パット・バー
「怒り」の上手な伝え方	森田 汐生
40代から備える親の介護&自分の介護	横井 孝治
尾木ママ、どうして勉強しなきゃいけないの?	尾木 直樹
納豆に砂糖を入れますか?	野瀬 泰申
かみ合わせが気になったら読む本	青木 聡
捨てられない服の片づけマジック!	横森美奈子
86の美味しい雑炊	武蔵 裕子
新編2才児イヤイヤ期の育て方	佐藤 眞子
流星ひとつ	沢木耕太郎
一生使える、美しい日本語と敬語	関根 健一
潮鳴り	葉室 麟
探偵部への挑戦状	東川 篤哉
人間にとって成熟とは何か	曾野 綾子
ヘンテコリンおじさん	みやにし たつや作絵

図書プラザのお知らせ・行事予定

☆イベントカレンダー

- 1月25日(土) 13:30 ~ びっくり箱のおはなし会
- 1月28日(火) 10:30 ~ あかちゃん絵本の読み聞かせ
- ・主催 読み聞かせの会「びっくり箱」
- ・場所 レ・コード館図書プラザおはなしのへや

☆びっくり箱冬のお楽しみ会の報告

12月7日(土)にレ・コード館にてびっくり箱の冬のお楽しみ会が開催されました。たくさんの親子連れが来場し、音楽に合わせた読み聞かせや手遊び、ピエロの出し物などバリエーション豊かな内容が繰り広げられました。最後には驚きのしかけも用意されており、子どもたちは終始大盛り上がりとなりました。

☆くプラスワンセミナー>

絵本作家・宮西達也さん講演会のお知らせ

「おまえうまそうだな」「おとうさんはウルトラマン」などの絵本作家・宮西達也さんが来町! 小さなお子さんから大人まで年齢に関係なく楽しめる内容ですので親子でご参加できます。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

- ・日時 2月2日(日) 開場 12:30 開演 13:00
- ・場所 レ・コード館 町民ホール
- ・入場料 無料(要整理券、12月27日より図書プラザで配布いたします)
- ・その他 1月18日に映画上映会を開催します。詳しくはまなボードをご覧ください。



俵かつぎ若者燃えるふるさと祭り

俵かつぎ
若者燃える
ふるさと祭り

ふるさとカルタ紹介 ⑮
た ふるさと祭り

にいかつぷふるさと祭りは、毎年、海の日前の土・日曜の2日間にわたって開催される新冠最大の行事である。若衆会のみこし御渡り、俵かつぎレース、判官太鼓演奏、歌謡ショーなどのほか、駅前には様々な露店が建ち並び、商工会青年部主催のビアガーデンには町内外から多くの人が来場し、大変な賑わいをみせる。

※ふるさとカルタは、新冠町開町130年・町制施行50年記念事業の一環として作製したもので、読み札の題材を「新冠郷土文化研究会」が選定し、そのお題に沿って「新冠俳句の会」が読み札語句を、「新冠アトリエの会」が絵札を担当して作り上げた町民手作りのカルタです。



1月13日 平成25年新冠町成人式



2月17日 レ・コードの湯300万人突破



4月23日 小竹町長3期目がスタート



5月26日 キズナ号が日本ダービー制覇



6月30日 デイマシオ美術館リニューアル

2013

1月

- 1日 元旦恒例の隆盛みこし・判官太鼓・新冠囃子が新年を祝う
- 11日 氷川神社で町交通安全推進委員会主催の交通安全祈願祭
- 13日 平成24年度新冠町教育賞・教育奨励賞表彰式
第6回農水新冠賞・第30回森みつ少年少女文芸賞受賞式

2月

- 3日 第25回昭和新山国際雪合戦・第8回日高地区予選大会
- 14日 少年国内研修交流事業に参加の小中学生18名が、沖縄での3泊4日の研修結果について報告
- 17日 新栄の新冠場外離発着場で日高スノーフェスティバル
- 23日 昭和音楽大学と合同のパートナーシップコンサート
- 27日 町和牛生産改良組合総会で肥育牛販売1億円突破を報告

3月

- 2日 アマチュアバンドの祭典「ホリデー in にかっぶ」復活

4月

- 9日 買い物に行けない高齢者を支援する、買い物支援事業「らくらくにかっぶ」の移動販売を開始
- 11日 3期にわたり新冠町議会議員を務めた故和田豊美さんに旭日単光章を伝達
- 22日 町商工会青年部がこども園に鯉のぼりを設置
- 27日 西泊津第2期分譲地「レ・コードの森スイーツタウン」の予約受付が開始

5月

- 5日 字高江のヒカル牧場で生産されたマイネルホウオウ号が第18回NHKマイルカップで優勝
- 16日 永年にわたり、自治会役員などを担ってきた7名が、新冠町自治会長等永年勤続表彰を受賞
- 28日 町議会議員を6期、議長を2期に渡り担った妹尾壽一さんが旭日双光章を受章
寺田孝男さんが北海道町内会連合会功労者表彰を受賞

6月

- 1日 軽トラ市が道の駅前駐車場でスタート
- 8日 レ・コード館誕生日、たくさんの演奏でお祝い

新冠町 あんなこと こんなこと

7月

- 4日 地場産品を活用したアイスクリーム作り教室
- 26日 歌手「鳥羽一郎」とお笑いコンビ「U字工事」のジョイントコンサートに約500名の来場者
- 27日 デイマシオ美術館のリニューアルオープンを記念して、デイマシオさん本人によるトークイベント開催

8月

- 2日 全日高家畜共進会で田上光征さんの牛が最優秀賞
- 19日 町と静内警察署が暴力団排除に向けた連携で合意書
- 20日 新冠町戦没者慰霊祭に遺族ら40名が参列
- 25日 第1回新冠町テニポン交流大会に全道から90名が参加

9月

- 4日 町老人クラブ連合会主催によるスポーツ大会
- 19日 観光協会主催の新冠体験ツアー「歩いて・見て・感じて」に29名が参加し、美術館や判官館など町内を散策

10月

- 1日 新教育委員に氏家良美さんを選任
町議会議員を務めた稗田龍太さんが旭日双光章受章
郵政事業に尽力された宮坂義潔さんが瑞宝双光章受章
- 6日 新冠町防災避難訓練に806名が参加
- 18日 字中央町の中村陸男さんが、全国自治会連合会表彰受賞
新冠町文化協会主催による町民文化祭が始まる
- 22日 幼小連携避難訓練を開催、301名が泊津の高台へ避難

11月

- 3日 功労賞・善行賞贈呈式、永年にわたり町の発展、振興に寄与した6名に功労章と表彰盾を贈呈
- 6日 井上達也さんが平成25年度社会貢献賞を受賞
- 23日 レ・コード館ジュニアジャズバンド、創立10周年の記念演奏会、卒業生、講師、プロも加わり大演奏会

12月

- 1日 旧節婦小学校体育館が、社会体育施設としてリニューアルオープン、各種記念事業を開催
- 14日 劇団ど・こ〜れ新冠第16回定期公演「死神ペドロ」



7月14日 にかっぶふるさと祭り



9月9日 節婦金刀比羅神社完成式典



9月22日 一度来て！見て！新冠



11月27日 町民文化祭芸能発表会



11月23日 山元町ふれあい産業祭参加

キラリと光る レ・コードなまち ○団体・サークル紹介○

今月号は、親子で楽しめる子育て支援サークル「キンダーハウス」を紹介します。

【プロフィール】

キンダーハウスは、幼稚園などに通園する前の子と親と一緒に参加でき、地域にいる同世代の親子が交流できる場所を作りたいとの思いから、平成23年に設立したサークルで、名称もkindergarten(幼稚園)とhouse(家)を組み合わせた「キンダーハウス」としました。

現在の会員は20組の親子で、毎週1回、町民センターで活動しています。1回の活動時間は約1時間で、活動内容は「身体遊び」と「物作り」の大きく2つに分けられます。

身体遊びでは、集団遊びや物まねなどの模倣運動、テレビ番組で使われる曲などのリズム運動を通して、運動能力や表現力などの感性を伸ばします。また、物作りでは、絵の具やねんどなどを使い、親子で制作を楽しみながら想像力を育てます。

そして、このような活動の中で生まれる子どもどうしの関わりや親子の触れ合いから、少しずつ社会性を養うことができると考えています。

もちろん、子どもだけではなく、参加する親にとっても、情報交換をしたり、交流を深めたりしながら仲間作りができる場所となっており、子育てが続く毎日の中で、気分転換できる時間にもなっています。



【活動内容】

参加対象：2歳から入園前までの子どもと親
 活動時間：毎週水曜日 10時30分～11時30分
 (現在は参加者が多いため木曜日にも開催)
 活動場所：新冠町民センター 児童館
 会費：1か月300円

【募集内容】

活動に興味のある方はどなたでも参加できます。見学も自由ですので、お気軽にお問い合わせください。一緒に子育てを楽しみましょう！
 詳細については、サークル代表渋谷(☎090・9437・1578)までお問い合わせください。

小竹町長の動静&まちのできごと :11月分

- 1日、辞令交付式 ● 3日、平成25年度新冠町功労賞・善行賞贈呈式 ● 4日、金沢競馬場記念事業(金沢市～5日) ● 6日、北海道社会貢献賞授与式、高齢者叙勲授与式、アイバ祭 ● 8日、北海道乗馬連盟創立60周年記念式典祝賀会(札幌市) ● 11日、育成公社取締役会 ● 14日、庁内会議 ● 18日、北海道新幹線開業に伴う先進地視察(熊本県・鹿児島県～18日)
- 20日、全国町村大会(東京都～21日) ● 21日、日高管内技能者の集い ● 23日、ふれあい産業祭(宮城県～24日) ● 25日、消防団120年・自治体消防65周年記念大会(東京都) ● 26日、北海道軽種馬振興公社理事会(日高町) ● 27日、まちづくりヒヤリング、新冠温泉取締役会 ● 28日、第9回みつし牛枝肉共励会表彰式

人のうごき

人口	5,788人	(前月比 + 4人)
男	2,795人	(前月比 - 1人)
女	2,993人	(前月比 + 5人)
世帯	2,698人	(前月比 + 4世帯)

(平成25年11月末現在)